

本の修理 きほんのき

その2 とりあつかい

長く大切に使うには…
本が苦手なことを知る



紫外線は嫌い！
太陽にはあてないで



急激な温湿度の変化が苦手
温度 18～22℃
相対湿度 45～55%
なら、長生きできるのに…

ページを
めくるとき
は、やぶれな
いように、
やさしく！



棚から取り出す
ときは、おなか
を持って。背に
指をひっかける
と壊れちゃう！



水は、紙の天敵！
雨や水から守ってね

まっすぐ立ってないとゆがんじゃうよ
棚にぎゅっと押し込まないで
きちんとした姿勢

ドライクリーニング

ホコリは虫やカビ
の栄養源
水と油を使わず
きれいにする方法

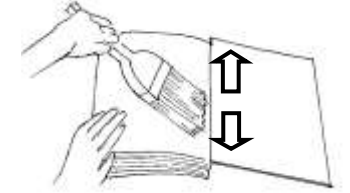
- ①片手でしっかりもつ
- ②ハケではらう

小口をはらう順序の原則

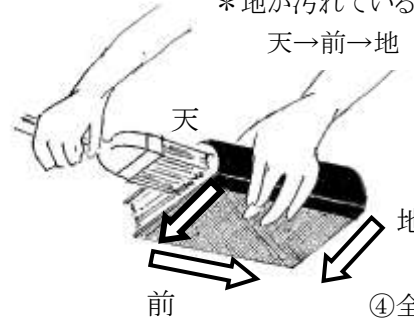
きれいな方 → 汚れている方

* 天が汚れているとき
地→前→天

* 地が汚れているとき
天→前→地



③見返しのノドの部分をはらう



④全体を布でふく

マイクロファイバークロスがおすすめ！



図書館の本が壊れたら？

はじめからページがとれていた、読んでいたら外れて
しまった、こどもがやぶってしまった etc そんなとき…

- ◆無理な修理をせずにそのまま返しましょう。
- ◆返却の時に、どこが壊れているか伝えましょう。

※ 修理は図書館で行います。

破損の程度によっては、弁償になることがあります。

